

第1963号

2020年10月18日

日本共産党根室市議団  
根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

## 市役所新庁舎基本計画策定へ

根室市役所の新庁舎建設については、これまで、市議団ニュースでも数回とりあげてきましたが、今年3月に基本構想が完成し、現在、基本計画を策定中です。市議会総務常任委員会では14日、基本計画（素案）について議論しました。

基本計画（素案）では、新庁舎に必要な機能として、環境にやさしく経済的な庁舎を挙げています。ここでは自然エネルギー（太陽光発電など）の活用、LED照明や節水型トイレの導入などが計画されています。

また、経済性においては、既存庁舎の地階を残して有効活用するなどして、工事費を削減すること、建物のライフサイクルにおいて大きな比重を占める維持管理費、修繕費などのランニングコストの抑制に努めることとされています。

さらに、取り巻く環境の変化に対応できるように、「機能性・耐久性に優れ、効率的で将来にわたる様々な需要に対応できる庁舎」をめざすとしています。

基本計画（素案）で示されている新庁舎の建設規模は、想定職員数などから、延べ床面積7千7百50㎡となっています。建設場所は現敷地内の東側、現庁舎が東西横長であるのに対し、南北縦長になります。地上4階地下1階で、地下（機械室等）は現庁舎の地下部分と渡り廊下でつながります。

概算事業費は53・4億円（58・5億円と見込まれています。財源として国の「市町村役場緊急保全事業」を活用するため、市の負担額は、「借金の返済」を含めて42・5億円（46・4億円となるもよう）です。

新庁舎の基本方針の一つに、「全ての人が利用しやすく、親しまれ、開かれた庁舎」があります。みなさんのご意見をお聞かせください。

### 決算委員会質疑の続報

#### 教育費

若者の「活字離れ」？

教育委員会では、児童生徒一人に1台、タブレット端末が整備されるよう準備を進めているところ。鈴木議員は、タブレット等が普及することにより、子どもたちの「活字離れ」が進むのではないかと述べ、教育委員会の対応を求めました。

学校教育指導室長は、市内すべての学校で朝読書を行い、小学校では地域ボランティアによる読み聞かせ、また、新聞、本を活用した調べ学習を行うなど、児童生徒が活字に触れることを重視していることと答えました。図書館では、中高生の読書推進に向けて取り組んでいるとのこと。



### 「核のゴミ」問題は全道の課題



党前衆議院議員・畠山和也

寿都町に続き、神恵内村も文献調査に入ること。今日は函館市で「核のゴミ」とともに、大間原発ストップをと街頭からよびかけました。

この間も書いてきましたが、財政難や人口減少は各自自治体の共通課題だけに、寿都町や神恵内村もいっしょに国へ求めることに力を合わせてほしいと願っています。国は原発マネーや「核のゴミ」マネーで、地方自治体に受け入れさせる進め方はやめるべき。どの町でも国民が安心してくらせるように、財政的補償をするのが国の役割のはずです。

函館市民の関心も高い。この問題で話し始めたら、車の窓がスーッと開いて拍手をしてくださる方もありました。みんな心配をしているし、だからこそ「核のゴミ」を増産することになる大間原発の建設にも、新たな目が向けられているのだと街頭から実感しました。

新型コロナウイルスの影響は、函館市でも顕著に出ています。ホテルの休館・閉館や、お土産屋さんでも商品を少なめに陳列しているなどを目にしました。自己責任では解決できないコロナ禍で、菅首相が「自助」を真っ先に掲げていたことを、あらためて思い出して腹立たしくもなります。この現実こそ総理は受け止めるべきです。

【今日の句】地方へと 不都合ばかり 押しつけて

2020年10月9日 金曜日